

渋沢栄一から

妻千代への

手紙



渋沢栄一は安政五年（一八五八）

に、一歳年下の従妹・尾高千代と結婚をしました。幼馴染であった栄一と千代は、強い絆で結ばれ、互いにかけてがえない存在となります。

栄一が郷里・血洗島村を旅立ち、一橋家に出仕して国事に奔走したとき、幕臣としてフランスへ渡ったとき、帰国後に大蔵省官僚として近代化に奔走したとき、そして第一国立銀行の創立後に実業家として活動したときにも、千代へたびたび手紙を書き送りました。

本展では、当館が所蔵する約三〇通の、栄一から千代に宛てた書簡を一挙公開し、激動の幕末維新时期を生き抜いた二人の絆、夫婦愛に焦点をあてます。



7



8

掲載資料（すべて渋沢史料館所蔵）

- 1：渋沢千代
- 2：渋沢栄一書簡 渋沢千代宛（慶応3年5月15日）
- 3：渋沢栄一
- 4：渋沢栄一書簡 渋沢千代宛（慶応3年3月30日）
- 5：渋沢栄一書簡の包紙
- 6：渋沢栄一書簡 渋沢千代宛（慶応3年1月9日）
- 7：渋沢栄一書簡 渋沢千代宛（慶応2年8月【日未詳】）
- 8：穂積歌子著『は、その落葉』（明治33年版・昭和5年版）

●完全予約制

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を徹底しながら開館いたします。

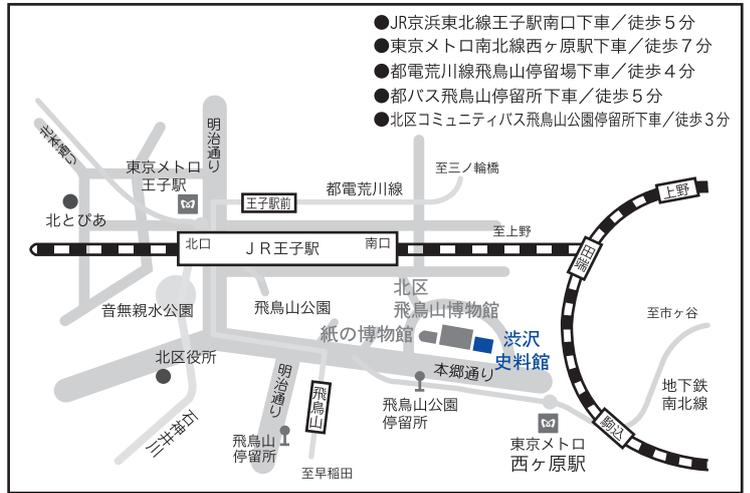
ご来館の前日15時までに当館ウェブサイトからご予約ください。

<https://www.shibusawa.or.jp/museum/>

●開館日、開館時間、休館日、入館方法等は、当館ウェブサイトでご確認ください。

●入館料：一般 300円 / 小中高生 100円

●新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更となる場合があります。

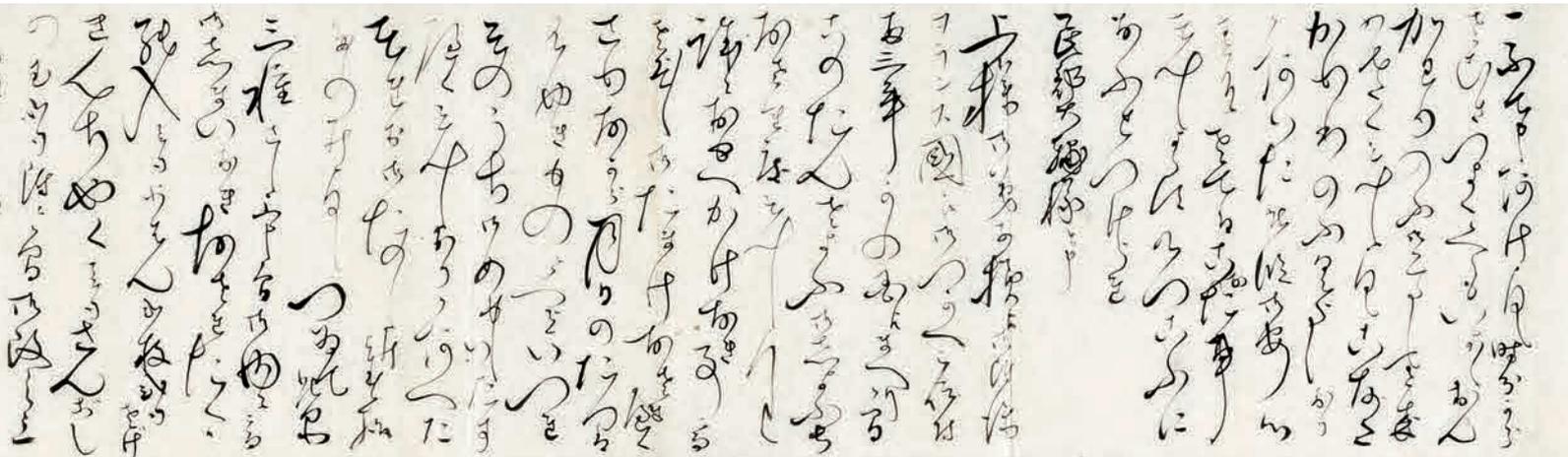


専用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。



公益財団法人 渋沢栄一記念財団
渋沢史料館
 Shibusawa Memorial Museum

〒114-0024
 東京都北区西ヶ原2-16-1
 電話：03(3910)0005
<https://www.shibusawa.or.jp>



6